

展覧会会期：2026年3月14日（土）～6月14日（日）

◆本展覧会の作品画像を、広報素材としてご提供いたします。

<広報用画像使用に際しての注意>

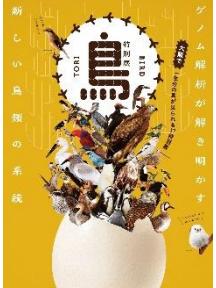
- ・広報用画像の使用は、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。ご使用可能期間は本展終了までです。
- ・ご使用の際は、**展覧会名、会期、会場、（特別展「鳥～ゲノム解析で解き明かす新しい鳥類の系統～」、2026年3月14日(土)～6月14日(日)、大阪市立自然史博物館）、標本画像には標本名、所蔵先を必ず明記してください。**
- ・画像は全て全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・掲載前に、校正原稿を広報事務局までメールにてお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は主催者側で負いかねます。
- ・掲載誌（紙）、録画DVD等を広報事務局にお送りください。WEBサイトの場合は掲載URLを公開時にお知らせください。
- ・本展をご紹介いただく場合、ご希望があれば本展招待券を貴媒体読者プレゼント用に提供します。（5組10名様・10枚まで）

画像貸出の申請は、下記申込フォームよりお送りください。

申込フォーム：<https://forms.gle/VLXoa8N8LbjVVX9g9>◀申込フォーム
二次元コード

◆広報用画像キャプション一覧

No	キャプション
1	メインビジュアル ※クレジット表記不要
2	デイノニクス（国立科学博物館蔵）
3	シマフクロウ（国立科学博物館蔵）
4	ハシビロコウ（国立科学博物館蔵）
5	オウギバト（国立科学博物館蔵）
6	ヒクイドリ（国立科学博物館蔵）
7	チャミミチュウハシ（国立科学博物館蔵）
8	シマエナガ（国立科学博物館蔵）
9	ハヤブサ（国立科学博物館蔵）
10	オオハナインコ（国立科学博物館蔵）
11	オオタカ（国立科学博物館蔵）
12	コウテイペンギン（国立科学博物館蔵）
13	フキナガシフウチョウ（国立科学博物館蔵）
14	カタカケフウチョウ（国立科学博物館蔵）
15	キタタキ（姫路科学館蔵）
16	オガサワラカラヒワ（国立科学博物館蔵）
17	キジ（国立科学博物館蔵）
18	ペラゴルニス・サンデルシの生体復元モデル（国立科学博物館蔵）
19	ペラゴルニス・サンデルシの生体復元モデル・展示写真（国立科学博物館蔵）
20	猛禽ピラミッド（国立科学博物館、姫路科学館、我孫子市鳥の博物館蔵）

			
1	2	3	4
			
5	6	7	8
			
9	10	11	12
			
13	14	15	16
			
17	18	19	20

展覧会会期：2026年3月14日（土）～6月14日（日）

画像貸出の申請は、下記申込フォームよりお送りください。

申込フォーム：<https://forms.gle/VLXoa8N8LbjVVX9g9>◀申込フォーム
二次元コード

フォームでの入力が難しい場合、以下の項目を記入いただき、ご返信ください。

E-MAIL：tori@tm-office.co.jp

貸出画像希望番号							
貴社名							
媒体名							
媒体種別	※いずれかに○印をつけてください。 新聞 テレビ WEB 雑誌 フリーぺーぱー 会員誌 ラジオ その他（ ）						
WEBの場合 サイトURL							
掲載・放送予定日	月 日						
担当者名							
TEL	TEL						
E-mailアドレス							
読者プレゼント招待券 <input type="checkbox"/> 希望する (組名) ※最大5組10名 招待券の送付先 ご住所 〒 -							
<input type="checkbox"/> 応募宛先を広報事務局とする ※応募宛先は、以下の通りです。 〒541-0046 大阪市中央区平野町4-7-7-8階 TMオフィス内「鳥展」（媒体名）係							

《報道関係者お問い合わせ先》

特別展「鳥」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレfonセンター：050-1807-2919 E-MAIL：tori@tm-office.co.jp

大阪市立自然史博物館 特別展「鳥～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」 展覧会紹介文例

■ 50文字程度

一生分の鳥が見られる!?400点を超える鳥の標本や初公開の生体復元モデルを用いて、鳥類のひみつや魅力を徹底紹介。

■ 100文字程度

一生分の鳥が見られる!?400点を超える鳥の標本や初公開の生体復元モデルを用いて、鳥類のひみつや魅力を徹底紹介！ゲノム解析で明らかになった最新の系統分類をもとに、鳥類の体の構造や生態を解説。大阪展限定展示も必見。

■ 200文字程度

一生分の鳥が見られる!?400点を超える鳥の標本や初公開の生体復元モデルを用いて、鳥類のひみつや魅力を徹底紹介！国立科学博物館（東京）で初の鳥類をテーマとして開催された本展では、ゲノム解析による研究で明らかになった最新の系統分類をもとに、鳥類に特有な体の構造や生態を解説し、鳥たちの多様な進化に迫ります。また大阪展限定の展示では、大阪湾の渡り鳥と水鳥の現状と行方を紹介。鳥のすべてを楽しく学べる展覧会です。

《報道関係者お問い合わせ先》

特別展「鳥」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 E-MAIL：tori@tm-office.co.jp